



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより第48号 最終号
令和7年3月25日 修了式。
1年間子どもたちと先生方の
頑張りを令和7年度へつなぐ

- 四気とは＝川越中校訓「やる気 ほん気 こん気 げん気」の4つの気！
- 学校教育目標 『豊かな心』を土台とした「確かに生きる力」の育成

【 目指す生徒像 】

- ・ 自分を大切にする生徒
- ・ 他者を大切にする生徒
- ・ 粘り強くやり切る生徒

【 目指す学校像 】

- ・ 人を大切にする学校
- ・ 安全で安心できる学校
- ・ 地域や保護者とともにある学校

このような学校づくりを目指します！

【 川越中学校の柱となる取組み 】

『 関わることを通して、人権が大切にされる「仲間づくり」』を柱として

一人一人の子どもたちを大切にしたい5つの取組みをすすめます

第35回川越中学校卒業証書授与式での『答辞(とうじ)』を、卒業生を代表して以下のように心を込めて、感謝の想いを伝えてくれました。ここでは、川越中学校が大切にしている教育から学び得た姿がありました。先輩の言葉は、川越中学校で学ぶ後輩たちへの確かな道しるべとなっていくのだと思います。「川越中学校は先輩の姿から学べる学校です」という言葉につながる大きなヒントがいっぱい詰まっています！ここでは、『豊かな心』を土台とした「確かに生きる力」を身に付けて、自分の夢や目標に向かって旅立つ誇れる先輩としての姿がありました。次は今の2年生と1年生のみなさんに卒業した先輩から『心のBATON』が引き継がれました！新入生とともに、心の通う、あたたかくて居心地の良い、みんなにとっての大切な居場所となる川越中学校を先生方と一緒に創り上げてくださいね！本当に期待しています！これからも大好きな川越中学校を少し離れた場所から全力で応援します！

どうしても、今年年度最後の「学校だより」に示したかった内容です。1年間の最後の学校だよりだからこそ、1年間のまとめとしてふさわしいメッセージが込められています・・・

卒業生「答辞」 卒業生代表 「中村」さん



「答辞」の途中から一部抜粋して、後輩のみなさに紹介します

(途中から抜粋して・・・)部活動では、日々の活動が楽しいと感じつつ、上手な先輩を見て憧れたがうまくいかない、思うようにできない、そんなとき先輩たちが温かい言葉をかけてくれたり、先輩が仲間と切磋琢磨しながら日々前進していたりする姿を見て、「私も頑張ろう」「私もあんな先輩のようになりたい」と思い練習に励みました。それと同時に、「どんな姿を後輩に見せて卒業すべきか」と自問自答し、先輩としての意識が芽生え始めました。やがて後輩ができ、居心地の良い部にするために、後輩との関わりを大

切にしようと決心し、私も先輩としての役割を果たそうと動きました。今まで部活動を一緒にやってきて、私にメニューを聞いてくれたり、休憩のとき笑顔で話しかけてくれたりして、私は嬉しかったです。今度はあなたたちの番です。自分たちの部を精一杯つくってください。これらの行事や活動がうまくいったこと、私が成長できたのは、日々の中学校生活があったからです。



私たちの学年は日々、関わることを大切にしてきました。私は一年生のときから、学級で過ごすことに不安がありました。学級でのペアトークや、くじでの学習グループ替えなどの様々な取組みで、関わる人が増え、安心できる空間に変わっていききました。

司会や係の連絡などで人前に出て話すことが、私は苦手ですが、学級内での関わりが増えるにつれ、緊張せずにできるようになってきました。関わりの中で、相手を知ることができ、自分の話を聞いてもらえるということがわかり、それが学級への安心感につながったのだと思います。

また、クラストークも安心感につながる一つです。初めてのクラストークでは、自分の思いを受け入れてもらえるか、他の子の思いを自分はどう受け止めればいいのか、迷い悩んでいました。しかし、それも学級内での取組みが進み、関わりが深まるにつれ変化していったと思います。信頼関係があるからこそ、伝えられることも増えていき、また受け止めることもできるように私はなっていました。

人との関わりや信頼関係をつくるヒントは、学年通信や学級通信でもたくさん書かれていました。客観的に自分を振り返る材料となり、どのように動いたら学級に貢献できるか、室長・班長の思いにどう応えるか、通信を読み「思うこと」を書くことを通して、学級・自分と深く向き合うことができました。「思うこと」の束を読み返してみると、その当時の自分の悩みや葛藤、考えの変化がわかります。一日では薄い紙一枚ですが、束を見るとこれだけ考えを積み重ねてきたのだと、成長を実感できました。

このような中学校三年間というかけがえのない時間を、一緒に過ごしてきた大切な人たちに伝えたいことがあります。

【友達へ】

ともに成長してきた三年間、本当にいろいろなことがあったね。

関わり合いを大切にしてきたからこそ、時には言い合いになったり、ぶつかり合ったりしたこともあったね。素直に「ごめん」と言えず、悩んだ日もあった。それでも、心の中は感謝でいっぱいだった。私は支えてくれる仲間がいるから私でいられた。そして、私も周りの人のそういう存在でありたいと思えるから頑張れた。そんな仲間と出会えて私は幸せです。

三年生の二学期からは、仮校舎となったけれど、以前と変わらず、「おはよう」があふれる昇降口。笑い声が響き渡る廊下。そして、笑顔があふれる教室。…それも今日で最後です。

当たり前だった中学校生活も終わり、日々の生活がどれほど特別なものだったか、ようやく気づきました。だからこそ、伝え損ねてしまう前にみんなに伝えたいと思います。いつもそばにいてくれて、本当にありがとう。卒業は寂しいけれど、これまでの関わり合いの中でみんながわかっていることは、私たちは一人じゃないということ。だからこそ、離れ離れになっても、これからも、ともに成長していこう。

【校長先生としての想い・・・】

卒業式には、2年生と1年生の代表者のみの出席となりました。その代表者となったみなさんが、卒業式の雰囲気を感じて、感謝の想いのこもった合唱を心で聴き、先輩たちが伝えたかった想いを心でつなごうとしてくれています。上記の「答辞」を堂々と胸を張って、力いっぱい中村さんが伝えてくれた「答辞」をみなさんは、どのように読み返してくれますか？

みなさんが「1年後のなりたい自分をイメージして・・・」そして、「そのために、いまの自分ができることは何なか・・・」それは、『当たり前の日常こそが、本当に大切なものであること。その1日1日を一生懸命に取り組むこと』。一人で頑張ることがしんどくても、みなさんの周りには、一生懸命な自分を支えてくれて応援してくれる人が必ずいます。その頑張りを認めて励ましてくれる先生たちがいっぱいいます。いつも誰よりも一番にみなさんを応援し、守ってくれる保護者のみなさんや家族がいます。だから、みなさんには安心して・・・『今の自分を大切にして、前を向いて失敗を恐れずに、いろんなことにチャレンジできる人になってほしいと思います』。そして、『隣の人のしんどさや、つらさに気づくことができるやさしい人。寄り添える人になってほしい』と思います。みなさんの成長を心から楽しみにしています。頑張れ！川越中学校のみなさん！頑張れ！川越中学校！ファイト！

川越中学校に新しい『服装に関するルール』が子どもたちの声と行動によって出来上がりました！それは、『部活動Tシャツでの休日部活動の登下校を可とします！』『平日は部活動終わりの部活動Tシャツ下校を可とします！』『朝練習がある場合での部活動Tシャツでの登校を可とします！』教育ビジョンで大切にしたい



【写真は生徒会本部役員さん】

部活動Tシャツでの登校を可とします！』『朝練習がある場合での部活動Tシャツでの登校を可とします！』教育ビジョンで大切にしたい

『子どもたちが主体となる自治活動』を生徒会本部役員のみなさんが中心となって、全校のみなさんと卒業生で「新たなルールを創ってくれました！」。全校生徒の声をまとめて、今の制服や運動服の着こなしを自分たちで声掛けしながら守って行き、その成果を持って生徒指導の先生たちと一緒に生徒会役員のみなさんが話し合い、ともに『部活動Tシャツの着用のルール』を決めていきました！いまの川越中学校には、子どもたちが声を上げれる場所があります。子どもたちがその声をみんなで受け止めて行動に移していこう

という雰囲気があります！そして先生とともに話し合えるチカラがあります！

1年間、本当にありがとうございました。令和7年度もよろしくお願いいたします。

令和6年度、本日まで大過なく学校生活を送ることができましたのも、保護者の皆様をはじめ、地域の方々のご理解とご協力によるものであります。職員一同、感謝申し上げます。

学年通信・クラス通信・保健たより、生徒会たよりそして学校だより・学校ホームページなど、子どもたちの言葉をつなぎ、子どもたちと教職員が一生懸命に学校づくりを進める様子を紹介してきました。ホームページでも大変多くのみなさんに興味関心を持ってご覧いただき嬉しい限りです。保護者の皆さまはじめ子どもたち、大切な卒業生、地域関係者の皆さまにいっぱい目を通していただいたことに心から感謝をいたします。令和7年度も継続して子どもたちと教職員の全力と笑顔と一生懸命を、さまざまなカタチで紹介させていただきたいと思っております。保護者の皆様におかれましては、春休み中、ご家庭でお子様を見守っていただくとともに、けがや病気、事故に十分お気をつけていただき、4月7日（月）の新年度の始業式には、元気な姿でご家庭から送り出していただきますようよろしくお願いいたします。

本当に1年間お世話になりました。新年度も、今まで以上に本校の教育活動にご支援・ご協力賜りますことをお願い申し上げます。

最後になりますが、私事として。この度の人事異動で川越中学校から転勤となりました。

保健体育科教師として8年間、校長として3年間という長きにわたり大好きな川越町で、大好きな川越中学校で、大好きな子どもたちと一緒に学校づくりをさせていただいたことに心から感謝をいたします。保護者の皆さまと、地域の皆さま、関係機関の皆さま、多くの大切な卒業生に支えていただいたからこそ本日まで務めさせていただくことができました。本当に心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。川越町立川越中学校 校長 田口 佐登志